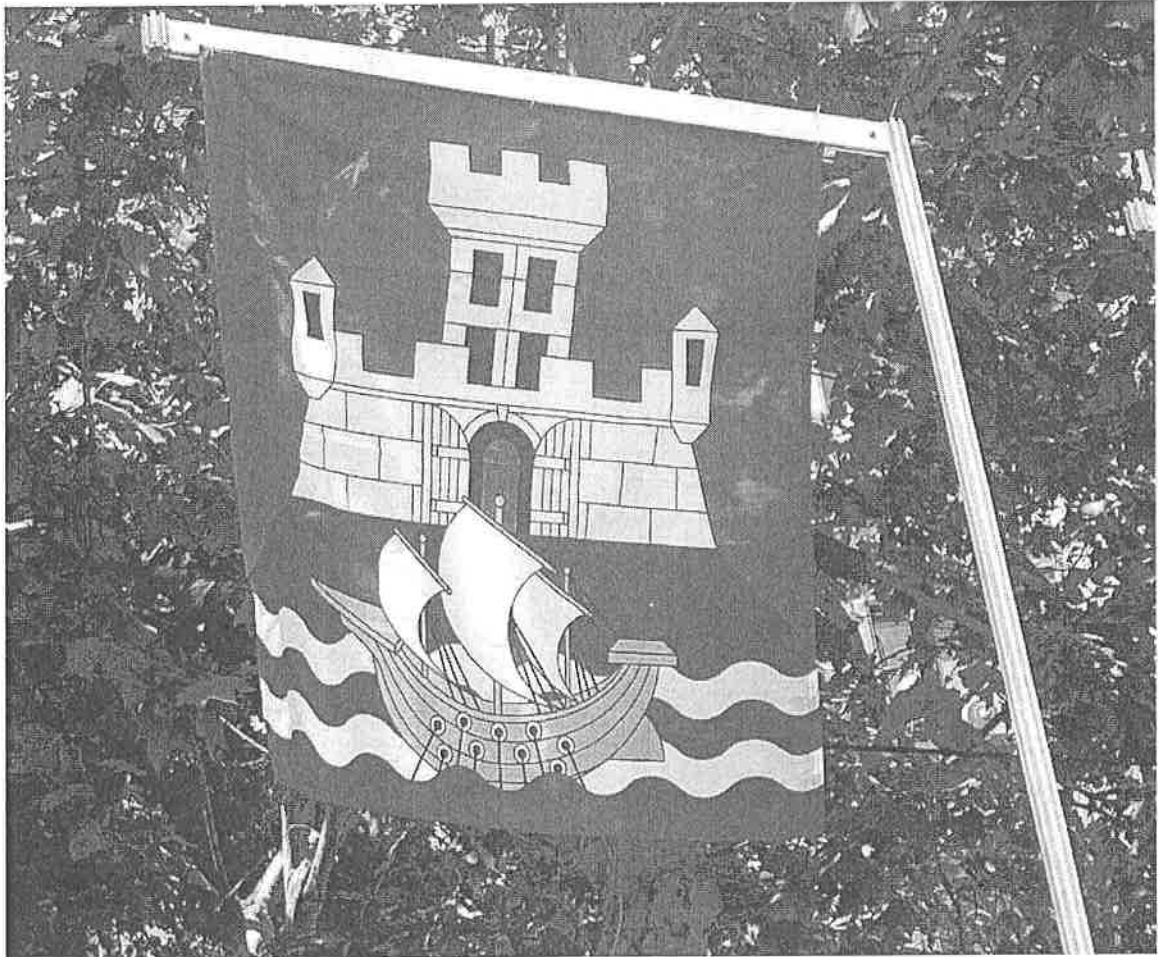


# ベオグラード案内



2017年4月  
在セルビア日本国大使館

I	ベオグラード概観	1
	1. 地理・気候	1
	2. 時差	1
	3. 歴史	1
II	滞在に関する諸案内	2
	1. 出入国に際して	2
	2. 空港から市内へ	2
	3. 通貨・両替	2
	4. チップ	3
	5. 治安	3
	6. 電話と郵便	3
	7. 市内交通機関	4
	8. その他生活情報	4
II	ベオグラード名所案内	6
	1. カレメグダン公園 (KALEMEGDAN FORTRESS)	6
	2. 旧市街	8
	3. テラジエ広場～クラリヤ・ミラナ大通り周辺	9
	4. スラビヤ広場 (SLAVIJA SQUARE) 周辺	11
	5. ドルチョル～スカダルリア	12
	6. ベオグラード郊外	13
	7. 新市街 (ノビ・ベオグラード)	13
	8. ゼムン	14
IV	観光ツアー・観光関係サイト	14
	1. バスツアー	14
	2. ボートツアー	15
	3. その他観光関係サイト	15
V	ベオグラード近郊日帰り観光	15
	1. アバラ山 (AVALA)	15
	2. ノビ・サド (NOVI SAD)	15
	3. フルシュカ・ゴーラ (FRUSKA GORA)	15
	4. スレムスキ・カルロブツイ (SREMSKI KARLOVCI)	16
VI	ホテル	16
VII	買物・お土産	17
VIII	食事・レストラン	17
	1. 代表的なセルビア料理メニュー	17
	2. レストラン (地図上では◇で表示)	18
IX	簡単な日常会話・単語	19
	1. 挨拶・日常会話	19
	2. 基本単語	20
X	主要連絡先一覧	21
	1. 在セルビア日本国大使館	21
	2. 緊急連絡先	21
	3. 医療施設	21
	4. その他	21

## I ベオグラード概観

### 1. 地理・気候

バルカン半島のほぼ中央に位置するベオグラードは、サバ川とドナウ川の合流点にあり、古くからアジア・中東とヨーロッパの交差点として発展してきました。このような地理的要素により、ベオグラードは波乱に満ちた歴史を歩んできたと言えます(下記 3. 歴史参照)。内陸部に位置するベオグラードの気候は大陸性気候で、年間の寒暖の差が大きく、春秋が短いのが特徴です。日本に比べ湿度は低いものの、夏期の最高気温は35度を超えることも珍しくなく、冬期最低気温は零下15度近くになることもあります。また2本の川の合流点に位置するため、特に晩秋から冬にかけては濃霧が発生し、しばし航空便の遅延、欠航が見られます。

<ベオグラードの年間平均気温(Republic Hydrometeorological Service of Serbia, 2016年)>

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温(°C)	2.4	9.0	8.8	15.2	17.5	22.0	23.9	22.2	18.8	11.0	7.8	0.9
平均最高気温(°C)	6.1	13.9	13.3	20.6	22.2	27.1	28.8	28.1	25.7	15.5	10.4	3.8
平均最低気温(°C)	-0.6	5.6	5.1	9.9	13.0	17.8	20.2	17.2	14.8	7.8	4.5	-1.4
平均降水量(mm)	52.5	35.1	75.5	37.9	59.3	152.2	1.6	60.8	16.7	76.5	63.7	2.9

<セルビア共和国一般事情>

正式国名	セルビア共和国(Republic of Serbia)	備考
面積	77,474k m <sup>2</sup>	2006年6月、モンテネグロが独立し、「セルビア・モンテネグロ」は、それぞれ「セルビア共和国」と「モンテネグロ」という2つの独立国となった。 更に2008年2月コソボがセルビアからの独立を宣言した。
人口	約712万人(2011年、国勢調査結果)	
宗教	セルビア正教、カトリック、イスラム教	
言語	セルビア語	

### 2. 時差

日本との時差は-8時間です。ただし、3月最終日曜日から10月最終日曜日までのサマータイム実施期間は-7時間になります。(グリニッジ標準時+1時間:中央ヨーロッパ時間 CET ゾーン)

### 3. 歴史

B.C.3000年	新石器時代から青銅器時代へ
~800年	イリリア人入植
B.C.800年	鉄器時代
B.C.3世紀	ケルト人入植・定住
~B.C.1世紀	この地をシンギドゥヌム(最初の街)と名付ける
A.D.1世紀	ローマ人の支配下
A.D.5世紀	フン族の侵入
A.D.6世紀	アバル人の侵入
A.D.7世紀	スラブ人の入植始まる。
A.D.9世紀	ベオグラードにセルビア人定住。ベオグラード(セルビア語で「白い街」)が使われ始める。
~A.D.14世紀	ビザンチウム、ハンガリーによる支配が続き、同時にセルビア王国との奪回も繰り返される。
1389年	コソボの戦い:バルカン連合軍(セルビア、ブルガリア等)がオスマン・トルコに敗れる。その後徐々にトルコの侵略開始(1521年にベオグラードが陥落される)。バルカン半島は約500年間トルコの支配下となる。
17世紀末	オーストリア帝国により3度征服される。その度トルコに再征服されるが、ゼムンは第1次世界大戦終了までオーストリア領として残ることとなる。
19世紀後半	トルコから独立、ベオグラードはセルビアの首都として発展
1918年	セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国の誕生
1929年	ユーゴスラビア王国となる
1945年	ユーゴスラビア連邦人民共和国建国(首都ベオグラード) (6つの共和国と2つの自治州という構成で成立)
1963年	ユーゴスラビア社会主義連邦共和国に改称
1980年	チトー大統領死去
1991年以降	クロアチア、スロベニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニアが続けて独立 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の崩壊。ユーゴスラビア連邦共和国(セルビア及びモンテネグロ共和国で構成)の成立(首都ベオグラード)
1999年	NATOによるユーゴスラビア連邦共和国空爆
2003年2月	セルビア・モンテネグロ両共和国から成る連合国家「セルビア・モンテネグロ」の成立(セルビア共和国の首都)
2006年6月	セルビア・モンテネグロからモンテネグロ共和国が独立し、セルビア・モンテネグロはセルビア共和国が承継
2008年	コソボがセルビアから分離・独立宣言

## II 滞在に関する諸案内

### 1. 出入国に際して

90 日以内の滞在ならビザは不要です。

セルビアへの入国は首都ベオグラードにある、ベオグラード(ニコラ・テスラ)空港が玄関口となります。入国時には税関職員による荷物のエックス線透視検査、開梱検査が実施されることもあります。

### 2. 空港から市内へ

ベオグラード空港から市内中心部まで約 20 kmあります。市内まではタクシー又はバスの利用をお勧めします。滞在先ホテルによっては、有料シャトルバス(事前予約制)を運行させている場合もあります。

#### (1) タクシー

到着ゲートを出る手前(バグゲージピックアップ)に黄色と黒の看板のベオグラード市が運営するタクシーカウンター(24 時間営業)があり、行き先を係員に告げると専用のタクシー乗り場まで案内してくれます。料金は固定制(新市街は1400ディナール、旧市内及びセニャック・デディニエは1800ディナール)です。新市街など一部の地域においては固定料金よりメーターの方が安い場合もあります。メータータクシーをご利用になる場合は出発ゲートまで上がり空港まで乗客を送り届けたタクシーの利用をお勧めします。到着ゲートで客引きをするタクシーがありますが、高い料金を取られる可能性があるため利用しないほうが賢明です。

#### (2) 路線バス(72 番)

ベオグラード市交通局バスが空港から市内中心部(ゼレニ・ベナツツ市場)まで、約 30 分間隔で運行しています。所要時間は約40分。(価格は車内購入で150ディナール)

#### (3) ミニバス(A1)

ゼムン地区のフォンターナ(Pariske Komune 通り)、中央駅前で停車し、ベオグラード市内のスラビヤ広場まで20分間隔(早朝・深夜は本数が少ない)で運行しています。所要時間は約30分。(300ディナール:車内購入)

### 3. 通貨・両替

セルビア共和国における通貨単位はディナール(Dinar, 略記: RSD)。ユーロとの交換レートは、1 ユーロ=約 120 ディナール、1 ディナール=約 1.0 円(2017 年 4 月現在)。両替は銀行、空港、駅、ホテル、スーパー内、市中の両替所等で可能です。両替の際は換金証明書を保管下さい。日本円の両替は限られた銀行でのみ可能ですが、レートが良くないため当地に滞在される場合は、ある程度のユーロ、ドルの現金をお持ちになることをお勧めします。

当地では小切手の取扱可能銀行が極めて少ないため使用はお勧めしません。またトラベラーズチェックは、一部の外資系銀行の窓口で換金可能ですが(パスポート必須)、一回の取引量に制限があり、ユーロ・ドルのトラベラーズチェックでも、ディナールでの換金となることが多いので使用はお勧めしません。主要クレジットカードの使用も可能となりつつありますが、主要ホテルでの支払いを除いて、あまり利用しない方が無難です。また、当地銀行窓口またはATMでは、日本で発行されたクレジットカードを用いてのキャッシングサービスが受けられないケースが多く、ATMを利用した場合、クレジットカードが回収されてしまう事案が発生しているため、ATMの使用は出来る限り避けた方がいいでしょう。

#### <セルビア硬貨>

1ディナール~20 ディナール(1 ディナール以下は四捨五入又は切り捨てられることが多い。)

黄金色のコインと、銀色のコインが両方流通しているが、価値は同じです。



#### <セルビア紙幣>

桁の数に応じて紙幣の大きさが異なる為、比較的扱いやすいが、200 ディナールと 1000 ディナール、20 ディナール紙幣と 500 ディナール等、色合いが似ている紙幣もあるので注意が必要。

##### 10 ディナール(茶)



Vuk Stefanovic Karazic

セルビア文字、言語の創案者。

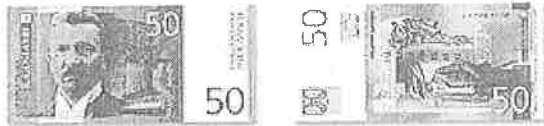
##### 20 ディナール(緑)



Petar II Petrovic Njegos

モンテネグロ主教君主。詩人、哲学者でも有名。

#### 50 ディナール(紫)



Stevan Stojanovic Mokranjac  
セルビア有名作曲家

#### 100 ディナール(青)



Nikola Tesla  
科学発明家。交流電流の発電機発明。

#### 200 ディナール(橙)



Nadezda Petrovic  
表現主義派画家。

#### 500 ディナール(黄緑)



Jovan Cvijic  
セルビア人類地理学創案者。地理科学者。

#### 1000 ディナール(ピンク)



Dorde Vajfert  
ユーゴスラビア王国時代の中央銀行総裁。

#### 5000 ディナール(薄紫)



Slobodan Jovanovic  
法学者、歴史学者。

#### 4. チップ

レストランやタクシーでは基本的には必要はないが、ウェイターのサービスぶりを勘案しつつ、5%程度を残すと好感的です。タクシーについても 5%を目安に端数を切り上げての支払いで良いでしょう。ホテルのポーターへのチップは 100 ディナール程度が相場です。

#### 5. 治安

経済低迷を背景として、スリ、空き巣等の一般犯罪や、銀行、外貨両替所、貴金属店を狙う強盗事件、車両を狙った窃盗事件が発生していますので、十分な安全対策を講じた上で慎重に行動しましょう。特に日本人を対象とした犯罪はありませんが、一般犯罪としてスリ、ひったくり、事件巻き添え、車の盗難などには注意しましょう(以上、ベオグラードの状況。セルビア及びモンテネグロ全体については渡航情報を参照して下さい。)

#### 6. 電話と郵便

##### (1) 電話

市内で公衆電話を見つけるのは困難です。コインを入れても作動せず故障中である事も多いため使用は避けた方が無難です。市内通話、国際通話共に宿舎の電話機を利用するのが良いでしょう。ホテルによっては料金体系や通話方法等が異なりますので、特に国際電話の利用の際は、念のためレセプションに確認して下さい。

電話のかけ方:

- ①固定電話よりベオグラード市内へかける場合:市外局番 011 を除きます。  
例:大使館(011-301-2800)へかける場合→301-2800
- ②固定電話より海外へかける場合:国番号の前に 00 を付けます。  
例:日本へかける場合→00+81+0を除いた市外局番+相手先電話番号
- ③日本からベオグラードへかける場合:国番号(381)の後に、市外局番の頭の0を除いた番号。  
例:日本から日本大使館へかける場合:00+381+11+301+2800

##### (2) 郵便

郵便局は青と黄色の文字で「PTT」又は「POST」と書かれた看板が目印です。郵便局により営業時間は異なりますが、平日 8:00~18:00 が一般的です。英語対応可能な郵便局は極めて少ないです。日本への航空郵便は 7~10 日、船便荷物の郵送は最低 3ヶ月かかります。他 DHL、UPS、FedEx 等の速達便もあります。

日本宛郵便料金(単位:ディナール)

重量\郵送方法	航空郵便	船便
ハガキ・封書(20g以下)	53	46
40gまで	126	112

(20g毎に値段設定あり)		
500g程度	560	385
1kg程度	980	630
2kg程度	1860	1160

※配達記録は重量に関係なく+131 ディナール。

## 7. 市内交通機関

### (1) 公共交通機関

ベオグラード市内の交通機関は GSP(ベオグラード市交通局 [www.gsp.co.rs](http://www.gsp.co.rs))のバス、路面電車、トロリーバスが中心です。市電、バスは市内を網羅しており、朝 4:30 頃から夜 12:00 過ぎまで運行しています。路線によっては、終夜で運行を行っている区間もあります。利用するには IC カード(BUS PLUS)をキオスクで購入し事前にチャージをして利用するのが安価で便利です。また、車内で一回の乗車のみ有効なチケットを購入可能です。(Zone 1:市内中心部、Zone 2~4:ベオグラード市郊外)

Day ticket(4:00~24:00)	Zone 1及びZone 2	複数Zone
ICカード利用	89ディナール/枚(90分間有効)	199~299ディナール
車内における販売料金表	150ディナール/枚(90分間有効)	300~400ディナール

上記の料金に加え、事前にキオスクにてプリペイドカードを購入すれば、290ディナール/24時間乗り放題 (Zone1 及び Zone2)となる。ICカード及びプリペイドカードの利用方法は、乗車時に、切符を読み取る機械の画面に、カードをかざして読み取り、乗り換え時にはどのマークも選択せずに同じカードをかざして読み取ります。

### (2) タクシー

当地ではタクシーが最も便利な交通機関です。タクシー乗り場からの利用はもちろん、流しを拾うことも電話で無線タクシーを呼ぶことも可能です。英語を理解する運転手が大半ですが、まれに英語が全く通じない運転手もいますので、遠方や分かりづらい場所への移動には、移動先の住所、電話番号の控えを持参した方が無難でしょう。

主なタクシー会社と料金は以下のとおりです。Lux Taxi の一番評判が良く、次点で Pink Taxi の順におすすめです。

・Beogradski taxi TEL: (+381) 19801 [www.beogradski-taxi.com](http://www.beogradski-taxi.com)

・Lux taxi TEL: (+381) 19944、(+381 11) 3033 123 [www.luxtaxi.co.rs](http://www.luxtaxi.co.rs)

・Pink taxi TEL: (+381) 19803、(+381 65) 288 9977 [www.pinktaxi.info](http://www.pinktaxi.info)

料金タリフは3段階あり、平日 6:00~22:00 はタリフ表示「1」、深夜 22:00~6:00 及び日曜・祝日はタリフ表示「2」、ベオグラード市以外はタリフ表示「3」の設定となっています。外国人の場合割高な料金を請求されることがあるので、タクシーに乗る際にメーターのタリフ表示を必ず確認して下さい。

サービス	タリフ1	タリフ2	タリフ3
初乗り料金	170ディナール	170ディナール	170ディナール
1キロ料金	65ディナール	85ディナール	130ディナール
1時間待ち料金	750ディナール	750ディナール	750ディナール

## 8. その他生活情報

### (1) 飲料水

当地の水質は良くなく、水道水はそのままでは飲用に適しません。市販のミネラル・ウォーターを飲用するのが安全です。商品名「ROSA」は軟水で、日本の飲料水が一番近い水です。

### (2) 電圧・プラグ・周波数・テレビの方式

当国の電圧は 230V、電気プラグ形状は丸形 2ピン C 又は SE タイプ、周波数は 50Hz、テレビは PAL 方式です。

### (3) 自動車の運転

当地は右側通行です。基本的に運転マナーが悪く、ルールを守らず、人や車の信号無視も多いので当国内での運転には細心の注意が必要です。交差点で停車をしていると、ロマン人(いわゆるジプシー)の子供が物乞いや窓拭きのため近寄ってきますが相手にしないのが良いでしょう。歩行者優先が全く遵守されず車が走行するので、歩行者としても注意が必要です。

ベオグラードは車社会であり、交通渋滞と駐車スペースの不足が大きな問題となっています。なお最近では、市内

での駐車違反の取締りが厳しくなっています。

(4)祝祭日 \*印:年にとって異なる移動祝祭日

新年	1月1日
セルビア正教クリスマス	1月7日
セルビア共和国建国記念日	2月15日、16日
メーデー	5月1日、2日
第一次世界大戦終戦記念日	11月11日
セルビア正教 グッドフライデー	*
セルビア正教 イースターマンデー	*

(5)ビジネス・アワー

店によって営業時間や休業日は異なりますが、次は一般的な営業時間の目安です。

銀行	平日 8:00~16:00 (土日は営業していない銀行の方が多い)
スーパー	平日、土曜 9:00~21:00 日曜9:00~15:00
ショッピングセンター	毎日 9:00~21:00
市場	毎日 6:00~17:00
レストラン	(昼食時間帯)11:00頃~24:00頃

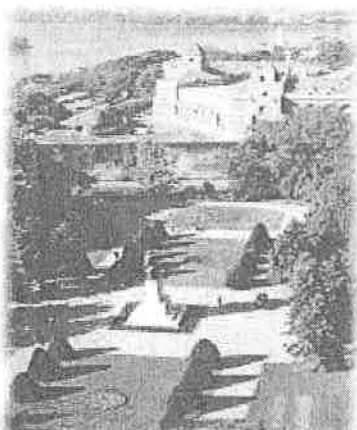
## II ベオグラード名所案内

ベオグラードはヨーロッパ最古の都市の1つです。紀元前 3 世紀にケルト人がこの地に定住してから現在に至るまで、多くの戦火を経験してきました。特に、約 500 年に渡るオスマン・トルコ帝国によるセルビア支配は、ベオグラードに大きな影響を残し、その面影が街の随所に見られます。ベオグラードという名前の由来は白い街(ベオ: 白、グラード: 街)という意味です。それは、街全体の壁が明るく白かったということにちなみ、7世紀にスラブ人が入植した際に名付けられたものです。

### 1. カレメグダン公園 (Kalemegdan Fortress)

ドナウ川に注ぐサバ川を一番美しく見下ろす事のできるカレメグダン公園は、ベオグラードで一番有名な観光スポットです。ゆっくりとした川の流れと、ドナウ川の向こうに広がる雄大な景観は、ここを訪れる人々の心を和ませてくれます。

2本の川の合流する丘の上に建つカレメグダン(Kalemegdan)要塞は、ベオグラードの建築物の中でも最も古く、要塞とそれをとりまく森は上下ふたつの部分(Gornji Grad=上要塞、Donji Grad=下要塞)に分かれています。上要塞の森はさらに大カレメグダン(Veliki Kalemegdan)と小カレメグダン(Mali Kalemegdan)で構成されており、豊かな緑の中に整備された歩道、動物園、バスケットコート、テニスコート、レストラン、カフェ、博物館など充実した施設があります。公園面積は 52.5 ヘクタール。



歴史上、常にここは「戦い」と切り離すことのできない運命の地でもありました。ケルト人・ローマ人・ビザンチン人・スラブ人・ハンガリア人・トルコ人などが次々に占領しては自分たちの砦を作ったため、現在の要塞にはいろいろな様式が残されています。トルコ語で「戦い・決闘(megdan)のための空き地・原っぱ(kale)」という名の由来がまさに歴史を物語ります。修学旅行生を見かけることも珍しくなく、この地域の歴史学習の必見スポットです。

500 年間のオスマン・トルコ支配のあと、時の統治者ミハイロ・オブレノビッチ公によって 1867 年、トルコ軍からカレメグダン要塞が取り戻されました。その後、ミハイロ公はトプチデルやコシュトウニャクから若木を運び、植林作業を積み重ねながら、上下に分かれる森の下部分(下要塞)から公園拡大計画を始めました。1931 年には、要塞の内側部分で本格的な整備が開始され、今では美しい公園となり、特に暖かい季節には、カレメグダン公園の豊

かな檜の木や栗の木の中で森林浴を満喫できます。これは、長い歴史の間、「戦略要地」であった場所を、人々に愛される「憩いの地」へと導いた人々の努力の賜物であり、今ではカレメグダン公園はベオグラードの街の永遠のシンボルになっていると言えるでしょう。

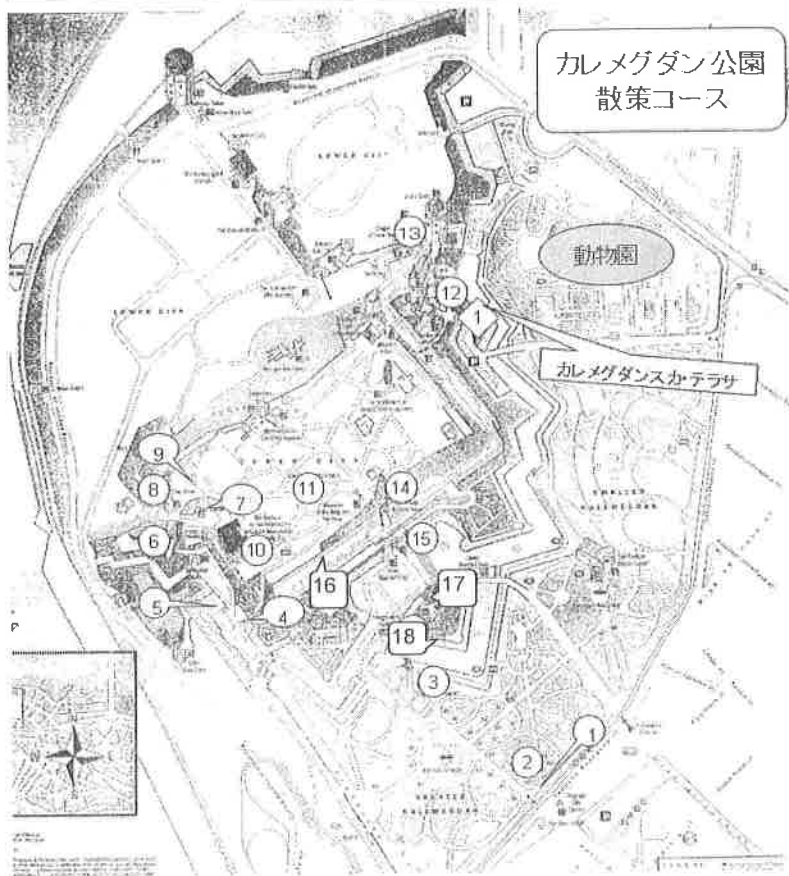


#### <カレメグダン公園散策コース> 地図参照

<b>1. コスタ・タウシヤノビッチ(Kosta Tausanovic)の銅像</b> 入ってすぐの右側にある銅像は、第 1 次トルコ戦争の参加者で、時の政府の高官であった人。公園内には、その他にも著名な芸術家・作家・政治家などの胸像が多くある。
<b>2. トルコの高官、アブドゥル・アジス(Sultan Abdul Aziz)の記念碑</b> 1867 年 4 月 6~19 日の布告が書いてある記念碑であり、内容は以下の通り。『ここに於いて ベオグラードの城壁は平和的に ミハイロ・オブレノビッチ王子及びセルビア軍に引き渡されるものである』
<b>3. フランスへの感謝の碑(Spomenik Zahvalnosti Francuskoj)</b> その道の正面にある大きな記念碑は、第 1 次世界大戦でセルビアがフランスから受けた数々の援助への感謝を表明するために建造されたもの。
<b>4. ナチスからの解放、王政の廃止に寄与したユーゴ共産党の党员のお墓</b>
<b>5. 感謝の泉</b> 公共バスを始めとする日本の援助に感謝の意を表しベオグラード市が 2010 年に設置。デザインは鹿威しをモチーフにしたベオグラードの若手芸術家の作品が公募により選ばれた。
<b>6. 王の門(Kraljeva Kapija)</b> 1725 年に建てられた中世の古い門は、上部へのメイン・ゲートである。
<b>7. ローマの井戸(Rimski Bunar)</b> この井戸の起源は恐らく 15 世紀にまでさかのぼると思われるが、現在の姿は 18 世紀にオーストリアが作ったもの。階段を 30m 以上降りた底に井戸があり、井戸の深さは 62m で、サバ川の水面下 10m に達している。



8. 勝者のモニュメント(Pobednik)
井戸の上の台地上がると、ベオグラードのシンボルにもなっている像が建っている。この像は当地で著名な彫刻家であるイバン・メシユトロビッチ(Ivan Mestrovic)の作品で、1928年に建てられ、その高さは14m。
9. 専制君主の城の模型
15世紀初頭に建築された専制君主ステファンの城を模型化したもの(1690年に崩壊)。公園内には彼の記念碑もある。
10. ベオグラード歴史的建造物保護事務所
昔は軍の司令官が住んでいた19世紀バルカン風の建物。
11. トルコの高官、ダマ・アリ・パシャの墓所
八角形の建物は18世紀初頭に建てられ、その後も2人のトルコ高官が同墓所に埋葬された。
12. 聖ルジツァ教会
18世紀弾薬庫として利用されていたのを1867年に教会となった。第一次世界大戦で大きく破壊されたが、1925年に再建。建物の前に立つ2体の銅像は中世と第一次世界大戦で亡くなった兵士の記念碑である。
13. 聖ペトカ教会
奇跡の泉の上に立っていたとされる古い礼拝堂を1935年に再建した。ペトカの日に完成した為この名がついた。
14. 時計塔とサハット門(Sahat Kula)
オーストリア統治下にあった18世紀に建てられたもので、望楼として使われた。
15. スタンボルの門(Stambol Kapija)
鉄で覆われた鉄を打たれた大きな門は、18世紀に建てられたもの。門に入る前には、戦車が並べられている。門にある階段を登ると軍事博物館へ。
16. 軍事博物館(Vojni Muzej)
1878年に設立された軍事博物館は、過去から現在までの歴史が軍事的な観点から大変分かりやすく紹介されており、この国の歴史を理解するに最適な博物館である。
17. 森林と狩猟博物館(Muzej Sumarstva i Lova)
スタンボルの門を抜けて正面に見えてくる建物。もとは要塞のメインゲートであったスタンボルの門への侵入を防ぐための、警備用の建物であった。現在は、貴重な動物の剥製や標本が置かれている。
18. カラジオルジェの門(Karadjordjva kapija)
スタンボルの門を抜けると、城壁の内部に出てくるが、そこで右手に見える門。この門は18世紀に建てられ、トルコ蜂起を起こしたセルビア最初の指導者の名にちなんで名付けられた。



## 2. 旧市街

カレメグダン公園の上要塞の森(大カレメグダン/Veliki Kalemegdan)から道を挟んで対面に、フランス大使館(1930年パリの建設会社により建設)、オーストリア大使館(ペオグラード商人 Dimitrije Krsmanovic がかつて所有)があります。この著名な建物と共に、ペオグラードのシンボリック的存在となっているセルビア大聖堂があり、この辺り一帯がペオグラードの旧市街と呼ばれています。

### (ア)セルビア大聖堂(サボルナ教会)(Orthodox Cathedral)

1837~40年に、トルコ人の退却とともに建てられたセルビア正教本山教会。トルコ支配下で禁じられていた教会建設がようやく自由になったことを示す歴史ある建築物です。室内には、イコン(聖像画)や木彫レリーフなどが飾られています。同教会の地下墓地には、セルビア正教の高位聖職者とともに、セルビアを統治したオブレノビッチ朝のリーダー達(ミロシュ、ミハイロ、ミラン)の墓、教会入り口前には、セルビア言語の創案者ブク・カラジッチ及びセルビアの最初の教育学者ドシテイ・オブレノビッチが埋葬されています。

### (イ)総主教の館(Patriarchate)及びセルビア正教会博物館(Museum of the Serbian Orthodox Church)

セルビア大聖堂と道路を挟んで向かいの建物です。現在ある館は、18世紀から19世紀にかけて活躍していた総主教(1766年~1905年の間に、14名の総主教がペオグラードを統括)の敷地の一部にあります。当建物は1935年にロシア移民の建築家、Viktor Lukomskiによって建てられました。

博物館には、大聖堂に飾られていた大小様々なイコンや儀式用装束等が展示されています。

### (ウ)公爵夫人リュビツァ邸(Palace of Princess Ljubica)

1831年ミロシュ・オブレノビッチ公の政権下で、ミロシュ公の妻であるリュビツァ公妃のために建てられた屋敷。当時のトルコ・バルカン様式の作りでありながら、詳細部には西欧バロックの影響も見られ、まさしく東西文化の接点を象徴しています。

### (エ)“?”(Znak Pitanja)

1823年に建てられたペオグラードで最も古いレストラン。昔の店の名前は、オーナーの名にちなんで「エチム・トーマのレストラン」と呼ばれていました。その後、「羊飼いの」と変え、更に「大聖堂」と変えたところ、教会より神を冒瀆する行為との苦情があり、一時的に「?’」の看板掲げて以来、そのまま現在に至っています。

### (オ)ペタル1世小学校(Kralj Petar I Elementary School)

この地域で初めて出来た小学校(1718年)を再建し、現在のようなネオ・ルネッサンス様式になったのは1907年。セルビア言語の創案者、ブク・カラジッチがここで教師として活躍していました。現在は、10歳までの生徒が通う小学校。

### (カ)セルビア国立銀行(National Bank of Serbia)

1889年に建てられたイタリアルネッサンス様式の建築物。ペオグラードにある建物の中で、当時の姿をそのまま残している数少ない建物の1つです。

### (キ)ロブニ・マガジン(Robni magazin)

1907年に建てられた建物で、ペオグラード初の近代的なデパートでした。建物の構造は主に鉄を使っており、その当時では斬新的な建造物だったようです。

### (ク)クネズ・ミハイロバ通り(Knez Mihailova St.)

カレメグダン公園から、共和国広場の脇を通り、テラジエへと南に延びる歩行者天国の繁華街。通りの両脇には、ブティックやカフェ、レストラン、本屋、ギャラリー等が並んでいるので、ウィンドーショッピングをしながらゆったりと散策するのも良いでしょう。

### (ケ)クルスティーナ・メハナ(Krstina mehana)

1869年に建てられ、この建物の2階部分は1882年までセルビア議会の会議が行われていた場所です。現在では1階部分に本屋など商店があります。



(コ) デリスカの泉(Deljska Fountain)

1848年に建造されたもので当初はトルコ軍騎兵隊(デリスカ)のための設備でした。その後2度の崩壊があり場所を変え、形を変え、1987年に現在の泉が位置する、クネズ・ミハイロバ通りの真ん中に再建されました。

(サ) セルビア科学・芸術アカデミー(Serbian Academy of Sciences and Arts/SANU)

1923年から1924年にかけて建築されたアール・ヌーボ調の建物。頂上には、ギリシア神話の「勝利の女神・ニケ」の彫刻が施されています。この建物の1階のギャラリーでは、常時芸術や科学に関する展示会が催されています。

(シ) ベオグラードの基本方位(The coordinates of Belgrade)

セルビア科学・芸術アカデミーの前の道路には、ベオグラードの基本方位が示されています。ベオグラードは、北緯緯度44度49'14"、東経経度20度27'44"、海拔116.75m。

(ス) キャプテン・ミーシャの建物(Captain Misa Building)

1863年に建てられた壮大な代表的建築物。現在はベオグラード大学の本部となっています。キャプテン・ミーシャ・アナスタシェビッチ(1803-1885)は、「ドナウ川のキャプテン」と称され、当時のセルビア人富豪でした。娘夫婦や甥のアレクサンダー・カラジョルジェビッチの将来のための宮殿として建てられていましたが、時はオブレノビッチ朝が統治者であったため、報復を恐れこの地を離れました。

(セ) 共和国広場(Republic Square)

ベオグラードの中心地にある広場であり、周辺には映画館、レストラン、カフェが立ち並びます。広場中央に立つ騎馬像は、ミハイロ・オブレノビッチ公。1867年、トルコ支配からベオグラードを解放し都をここに移した人物で、この像は1882年に建てられました。広場自体は1888年に整備され、現在のような広場となりました。デモや集会など、歴史的イベントの舞台としても注目を浴びてきた場所でもあります。

(ソ) 国立博物館(National Museum)(注:現在休館中)

1844年に創立された、セルビアで最も古く、伝統ある博物館。古代から現代まで幅広いコレクションを集めています。特に、紀元前7千年から5百年までの古代遺跡やギリシア、ローマの貴重な資料、中世から近代にかけてのアイコンや彫刻といったセルビアの芸術作品などが展示されています。

(タ) 国立劇場(National Theater)

共和国広場に面した、ベオグラードを代表する大劇場。ミハイロ・オブレノビッチ公の意思により建てられることになりましたが、建設が始まったのは本人が1868年の5月に暗殺されて3ヶ月後の8月からでした。完成は1869年。堂々たる外観は、ルネッサンスとネオ・クラシック、バロックなどの各様式が取り入れられています。その後、劇場は7回にわたり改装され、現在の形になったのは1989年に修繕されてからです。客席は714席あります。我が国は国立劇場に対し、2008年に5,000万円相当のデジタル視聴覚機材を供与しました(文化無償協力)。

(チ) ベオグラード文化センター(Belgrade Cultural Center)

1961年に建てられた文化センター。中にはギャラリー、本屋、また、ベオグラードのロゴが入った商品を扱うお土産店もあります。

(ツ) アルバニア(Albanija)

1930年代の現代的な要素を取り入れた建物(1939年)。長い間、バルカン地域内で最も高い建物でありました。アルバニアという名前は、建設前にあったレストランの名が由来です。

### 3. テラジエ広場〜クラリヤ・ミラナ大通り周辺

1830年代まで現在のベオグラードの旧市街にあたる部分は堀で囲まれており、その外は未開拓地でした。セルビアが独立国となり、産業が発展するに従って徐々に開拓、発展されたこの一帯は徐々に市の中心となり、現在では多くの省庁や大学のキャンパスが点在するベオグラードの心臓とも言える地域となっています。

(ア) テラジエ広場(Terazije Square)

1840年代にミロシュ・オブレノビッチ公の命により商人達がここに移り住み、有名なホテルやレストラン、ブティック等が建てられ、現在もクネズ・ミハイロバ通りに続くショッピング街となっています。その昔、現在の噴水のあるところに、水圧を与えることで水道内の水流のバランスがとれるという給水塔がありました。この給水塔は「水の天秤」と呼ばれたことからトルコ語で秤(はかり)を意味するテラジエが広場の名前となりました。

(イ) モスクワ・ホテル("Moskva" Hotel)→【ホテル情報7番参照】

テラジエ広場の目印ともいえるホテルは、1908年に創業。当初はロシアのサンクトペテルブルグの保険会社事務所があり、ホテルを兼用していました。また、正面玄関にはロシアへの賞賛と題するレリーフがあり、ロシアとの関係を強く示す建物です。第二次世界大戦までこのホテルは文化人・政治家の集まる場所でした。アインシュタイン、ロバート・デ・ニーロ、ニクソン大統領も宿泊しています。

(ウ) テラジエの泉(Terazije Fountain)

ミロシュ・オブレノビッチ公に敬意を表して設置された泉。泉の側面には、彼のイニシャルである「M.O.」と「1860」が刻み込まれています。ちなみに1860年は、カラジョルジェ朝からオブレノビッチ朝に権力が返還された年です。

(エ) ニコラ・パシッチ広場(Nikora Pasic Square)

1952年に作られた曲線を描いた建物(Dom Sindikata)は、かつての労働組合会館です。しばしば政治的集会の

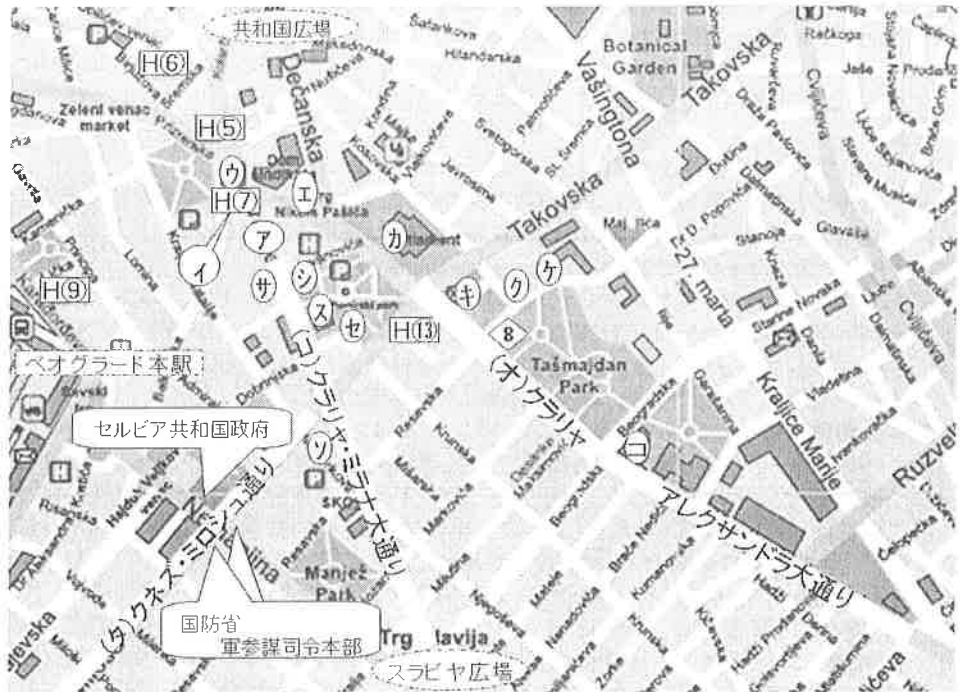
場となった広場でもあり、社会主義時代の雰囲気が今でも感じられます。

(オ)クラリヤ・アレクサンドラ大通り(Bulevar Kralja Aleksandra)

テラジエ広場と交差するかつて革命大通りと呼ばれていたベオグラードの主要通りの1つです。

(カ)連邦議会議事堂  
(Federal Parliament Building)

1907年から30年をかけて1936年に完成し、堂々たるネオ・ルネッサンス様式で建築された建物です。ここは、セルビアの政治の中心として、数々の歴史的宣言がなされた記念すべき場所です。1945年にはユーゴスラビア連邦人民共和国建国宣言、1961年には非同盟宣言が、また2000年にはミロシェビッチ政権崩壊の際に、民衆が建物の前に押し寄せた場所です。正面入口には、「戯れる黒馬」と呼ばれるブロンズ像があります。



(キ)ベオグラード中央郵便局(PTT Belgrade)

連邦議会議事堂横の威厳ある建物は、1938年にロシア移民の建築家によって建てられた中央郵便局です。

(ク)聖マルコ教会(St.Marko Church)、タシュマイダン公園(Tasmajdan Park)

1931年から1936年にかけて建築されたセルビア正教の教会。1830年、スルタンのおふれによって、セルビア人が宗教の自由を得たという、記念すべき場所に建てられています。建物は、グラチャニツァ(コソボ)の修道院を模倣し、中世セルビア建築様式で作られ、外装は赤レンガで覆われています。隣接するタシュマイダン公園は、緑豊かな市民の憩いの場になっています。タシュマイダン(トルコ語で石切り場(タシュ=石、マイダン=発掘)を意味していますが、何世紀の間、石はこの地域にある絶壁より切り出されていました。

(ケ)聖トリニティー教会(ロシア教会)(Holy Trinity Church)

聖マルコ教会の東側に位置する教会で、モスクワ総主教の一部であるため、ロシア教会として知られています。この教会はロシア人建築家により、10月革命の間に逃げてきたロシア人のために建てられました(1924年)。有名なロシア人将軍ブランゲル(Vrangel)が埋葬されています。

(コ)クラリヤ・ミラナ大通り(Bulevar Kralja Milana)

セルビアで最初の王となったミラン・オブレンオビッチにちなんで名付けられた通り。テラジエ広場から更に南に伸びるベオグラードの目抜き通りです。いろいろな商店が並び平日、週末問わずいつも多くの人で賑わっている通りです。

(サ)クルスマノビッチの家(Krsmanovic House on Terazije)

19世紀最後の10年間で、最も典型的なネオバロック様式の建物の1つ。1885年に住居として建てられましたが、同時に1918年から1922年の間は、セルビア王国の暫定的な宮殿として使用されていました。また、1918年にセルビア人、クロアチア人、スロベニア人王国の誕生が宣言された場所でもあります。

(シ)市庁舎(旧宮殿)(Belgrade City Assembly)

1882年にミラン・オブレンオビッチ王の公私兼用の公邸として建てられました。1941年の第2次世界大戦で爆撃されましたが、戦争が終わった頃に再建されました。現在は、ベオグラード市庁舎として使われています。市庁舎前から広がる大きな公園は、宮殿公園の名で親しまれています。

(ス)大統領府(新宮殿)(Office of the President)

旧宮殿であった隣には、カラジョルジェ・ペタル1世の新宮殿として、1913年から1918年にかけて建てられましたが、第1次世界大戦中に深刻な損害を受け、1922年に再建されました。現在は大統領府として使われています。

(セ)イボ・アンドリッチ記念博物館(Ivo Andrić Memorial Museum) イボ・アンドリッチ記念碑(1991)

1961年ノーベル文学賞を受賞した著名な作家イボ・アンドリッチの記念館で、1976年に創立されました。彼が生前暮らしていたアパートの一室を博物館としており、書斎やリビングは当時のまま保存してあります。ノーベル賞に輝いた際のメダルなどが展示されています。

イボ・アンドリッチ(Ivo Andrić): 1892年オーストリア・ハンガリー帝国の占領下にあったボスニアのトラブニク近郊に生まれる。幼くして父を亡くし、ドリナ川に面するビシェグラードで幼少期を過ごした。ザグレブなどで哲学を学んだ後、第一次世界大戦中は独立を目指す秘密結社「青年ボスニア」との関与を疑われ投獄される。釈放後は執筆活動のかたわら、戦後のユーゴスラビア王国で外交官(フランス、ベルリン勤務)を務める。第二次世界大戦が始まるとベオグラードに戻り、この間幼少期を過ごしたビシェグラードを舞台にした「ドリナの橋」や、外交資料に着想を得た「ボスニア物語」を書き上げた。戦後は文筆活動に専念し、1961年にはノーベル文学賞を受賞。1975年に死去。

(ソ)ベオグラジャンカ(Beogradjanka)

1974年に建設されたベオグラードの中心部で最初に出来た百貨店等が入る高層ビルです。高さ100m、24階建ての建物であり、ベオグラジャンカという名は、「ベオグラード娘」という意味です。

(タ)クネズ・ミロシュ通り(Knez Milos St.)

ミロシュ・オブレノビッチ公にちなんで付けられた通りで、当地政府関連建物、主要国大使館が立ち並びます。しかし、1999年のNATOユーゴ空爆跡が今でも生々しく残っており、当時の空爆の破壊力がうかがえます。この通りにあるアメリカ大使館は度重なる襲撃を防ぐため、通りに面した窓を全て塞ぎ、鉄格子を逃えてありますが、建物の撮影は禁止されているので、注意してください。



4. スラビヤ広場(Slavija Square)周辺

クラリヤ・ミラナ大通りを南に抜けるとロータリーとなっている広場があり、スラビヤ(Slavija)と呼ばれています(ア)。広場の中央には、デミトリエ・トウツオビッチ(旧ユーゴスラビアの社会主義運動のリーダーとして尊敬された人物)の胸像が飾られています。スラビヤ広場から少しのぼったところに聖サバ教会等があります。

(イ)聖サバ教会(St.Sava Church)

ベオグラード市街でもひととき目立つ建物。市内の中心道路であるクラリヤ・ミラナ大通りを南に車を走らせると、前方に白い巨大なドームが見えてきますが、これがセルビア最初の統治者ステファン・ネマニヤの息子で、有名な教育者でもあった聖サバを祭った教会、聖サバ教会です。1935年に着工され、途中第二次世界大戦や旧ユーゴ紛争等で工事が中断されつつ、現在も建築中です。この教会はモスクワにあるロシア正教救世主キリスト寺院に次ぐ世界最大の正教寺院です。ちなみに2003年3月にセルビア共和国政府庁舎で暗殺されたジンジッチ首相の葬儀はこの聖サバ教会で行われました。



内部の壁は、聖サバの生涯を描いたフレスコ画で飾られており、今後もさらに絵画を増やしていくようです。教会自体が放つ独特なオーラは、ここを訪れた人でないと味わえません。中に入ると、外観よりもさらにダイナミズムを感じます。

聖サバ礼拝堂(Old Chapel of St. Sava): 聖サバ教会の横にある礼拝堂である。聖サバ教会の位置が決定されたから、礼拝堂の位置も移されました(1895年)。内部の装飾がとて華やかで、天井まで埋め尽くされたフレスコ画が特徴的です。

(ウ)セルビア国立図書館(National Library of Serbia)

聖サバ教会に隣接して1970年に建てられた約5万冊の蔵書を持つ国立図書館。

(エ)カラジョルジェの記念碑(Monument to Karadjordje)

聖サバ教会を背にして、堂々と立っているのは、セルビア民族の英雄カラジョルジェ(ジョルジェ・ペトロビッチ:1762-1817)の像です。トルコ支配下にあった中で、1806年最初に武装蜂起した人物として英雄的に語り継がれています。彼は黒髪だったことから、黒い(トルコ語でカラ)ジョルジェと呼ばれ、トルコ側から恐れられていました。

(オ)ニコラ・テスラ博物館(Nikola Tesla Museum)

1953年に創設された博物館には、ユーゴが生んだ偉大な発明家の功績が展示されています。博物館専門のガイド付で、簡単な科学実験もできます。なお、現在セルビアで使われている100ディナール札の肖像はニコラ・テスラです。

ニコラ・テスラ(Nikola Tesla):1856年ハンガリー王国(現在のクロアチア西部)に生まれる。交流誘導モーター、交流発電機、高周波変圧器、ラジオ、遠隔無線操縦などの特許を持つ科学者であり発明家。今日の交流電力技術を確立する上で、大変大きな功績を残した。テスラの名は、磁束密度を表す国際単位系(1テスラが1万ガウス)に採用された。直流発明家トーマス・エジソンと同年代の発明家。1930年、エジソンとともにノーベル賞の候補となるもこれを拒否。このためエジソンもノーベル賞を受けなかった。1943年に死去。

## 5. ドルチョル～スカダルリア

(ア)ドルチョル(Dorcol)

トルコ語の“Dort-jol(交差点)”がこの地域の名前の由来です。元々はドナウ川沿いのカレメグダン要塞付近のみの称呼でしたが、現在はより拡大した範囲を“ドルチョル”と呼んでいます。トルコ支配時代においては、ベオグラードで最も重要な地区であり、今でも古い建築物がトルコ支配時代の名残をとどめています。

(イ)パイラクリ・モスク(Bajrakli Mosque)

トルコ支配時代、ベオグラードにはモスクが100にも及んだといわれます、現在市内に残るのはこのモスク1つだけになってしまいました。1660年から1688年にかけて建てられたものです。パイラクリとは旗という意味で、かつては祈りの時間になると、このモスクに旗が掲げられ、市内の他のモスクに伝えられていました。

(ウ)シェイク・ムスタファの墓(Sheikh-Mustafa's Burial Chamber)

カレメグダン公園の中にある「ダリ・アマ・パシャ」の墓同様に、トルコ支配時代のトルコ人、シェイク・ムスタファのお墓として建てられたものです。トルコ統治の証として、今なお存在している貴重な建物です。(1784年建築)。

(エ)ドシティの学院(Dositej's Lyceum)

18世紀後半に建てられた最初の教育機関です。この学院を創設したのは、ドシティ・オブラドビッチで、セルビアの教育者であり、最初の教育大臣でした。彼の最も有名な生徒にはセルビア言語の創作者、ブク・カラジッチがいます。この二人の偉大な功績を集めた「ブクとドシティ博物館」が同学院の中にあります。

(オ)ボジッチの家(Bozic's House)

ベオグラードの商人ボジッチ邸として、1836年に建てられたものです。1951年より、同邸宅内に、「劇場博物館」が創設されました。館内には、ベオグラードにおける演劇及び劇場の歴史が写真パネルで展示されています。

(カ)スカダルリヤ通り(Skadarlija St.)

かつて18世紀後半～19世紀前半にかけてベオグラードで活躍した作家、詩人、俳優など、多くの芸術家が集まっていたベオグラードのモンマルトルとも言うべき地区があります。石畳が続くこの小さな坂道をスカダルリヤ通りと呼び、この通り沿いでは今日でもボヘミアンの歴史と伝統を感じつつ、レストランでは民族楽団のセルビア民謡の生演奏を聞きながらセルビア伝統料理を楽しむことができます。ベオグラードに来た際はスカダルリヤ通りでセルビアの郷土料理を召し上がることをお勧めします。

→Ⅷ 2. レストラン参照

(キ)セビリ噴水

ボスニア・ヘルツェゴビナのサラエボ市が1989年にベオグラード市に寄贈した噴水で、サラエボの中心部にあるバシュ・チャルシア通りのレプリカ。





#### (ク)パイロンのビール醸造所(Bajloni's Brewery in Skadarlija)

チェコ人、イグニャット・パイロン(Ignjat Bajloni)が 1880 年に手動式ビール醸造所を購入し、それから大きな醸造所に発展させ、1900 年までに彼の商品は、パリの世界博覧会で賞を受賞するまでに至りました。2つの世界大戦の間も、この模範的な醸造所は 200 人の従業員をかかえながら、偉大なる功績を残しましたが、現在は残念ながら営業していません。彼の名前は、スカダルリヤ近くの市場の名前に使用されています。

#### (ケ)ジュラ・ヤクシッチの記念の家

ジュラ・ヤクシッチ(Djura Jaksic: 19 世紀中頃に活躍したセルビアロマン主義を代表する詩人、画家、劇作家。)は晩年をスカダルリヤ通りの一角にあるこの家で過ごし、1878 年に最後を迎えた。家は彼の栄誉をたたえブロンズ像と共に今でも記念博物館となっている。

### 6. ペオグラード郊外

#### (ア)トプチデル(Topcider)

サバ川の右岸をペオグラードの中心から車で 10 分ほど南に下がったところに、トプチデル森林公園という緑豊かな高台が見えてきます。トルコ占領下の時代には、トルコ砲兵隊の駐屯地であり、公園の名前はトルコ語のトプチ(大砲)とデル(流れ)が由来です。周囲は閑静な高級住宅地となっています。

##### i ミロシュ公宮殿(Prince Milos's Palace)

緑豊かな公園内には、1834 年に建てられたミロシュ・オブレノビッチ公の宮殿があります。ミロシュ公は、ここで会議を開き、歴史的な重要事項の決定等話し合いました。彼の妻リュツァと同様にバルカン風造り。ペオグラード旧市街に位置する彼の妻の宮殿はトルコ駐屯地に近かったため、注意深いミロシュは、彼女の宮殿に住むことはほとんどなかったそうです。

##### ii トプチデル教会(Topcider Church)

ミロシュ・オブレノビッチ公の教会堂として 1834 年に建設されました。この場所では、1804 年にミロシュがカラジョルジェの命令に背いたため、殺されそうになった事件が発生しています。

##### iii オベリスク(方尖塔: Obelisk)

ミロシュ王に再び権力が返還されたことを讃えて建てられた塔。1859 年に建てられ、当時のまま保持されている珍しい記念碑です。

#### (イ)花の家(Kuca Cveca)

ペオグラード市南部、旧市街を見下ろす高台に、故旧ユーゴスラビア大統領ヨシッパ・ブロズ・チトーの墓所があります。旧ユーゴ時代は国民の英雄として、又、統合の象徴として、広く国民から愛されました。

#### (ウ)アダ・チガンリヤ(Ada Ciganlija)

アダ・チガンリヤは、サバ川の中州とサバ川の水をせき止めた人口の湖により構成される公園で、市民の憩いの場となっています。同公園は、最も大きなスポーツレクリエーションセンターでもあり、四季を通じてさまざまなスポーツが楽しめ、特に夏場は水浴を楽しむ多くの市民で賑わっています。また、ボート世界選手権など世界規模の大会の会場としても使用されています。アダ湖は、長さ 4km、幅 250m、深さ 4~6m。アダとは、トルコ語で島を意味しています。

### 7. 新市街(ノビ・ペオグラード)

#### (1)近代美術館

サバ川の左岸に位置する近代的な建物で、1960 年から 1965 年にかけて建設されたプリズム型の建物。主に、今世紀のセルビアの芸術、セルビア人芸術家の絵画や彫刻、版画、タペストリー等が、約 3000 点以上展示されています。

#### (2)ウシュチェ・ビジネスセンター

旧共産党ビルとして、1964 年に建てられた高さ約 100m、地上 25 階建てのコンクリート建築物です。このビルには、ミロシェビッチ元大統領が党首を務めるセルビア社会党の本部事務所が入っていた他、同人の夫人が率いる政党・左翼連合のラジオ・テレビ放送局や、娘が経営する放送局も入っていたため、1999 年の NATO による空爆時には、ミロシェビッチ体制を支える政権中枢機関とその宣伝機関として、このビルも攻撃され、大きな被害を受けています。現在は修復、改装工事が終わり、近代的なビジネスセンターに生まれ変わっています。

#### (3)連邦宮殿

1947 年から 1954 年かけて建てられた、ノビ・ペオグラード市初期時代に出来た建物の 1つ。旧ユーゴ連邦時代は連邦政府庁舎として使われていましたが、現在は一部セルビア政府庁舎となっています。

#### (4)サバ・センター、クラウンプラザホテル

ノビ・ペオグラード地区(新市街)に建てられたクラウンプラザホテルを始めとする緑色の近代的な建物群。サバ・センターでは、国際会議、文化行事等が行える施設が整っており、4,000 人が収容できるホールはコンサート会場として様々なプログラムが催されています。

## 8. ゼムン

ゼムンは、ノビ・ベオグラード地区(新市街)に隣接する地区で、旧市街から北西のドナウ川沿いに位置します。ゼムンは古くから戦略的に重要な拠点とされ、1521年から1717年まではトルコ領、1717年から1918年まではオーストリア領になった歴史があり、第1次世界大戦終了時の1918年、旧ユーゴの前身セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国が建国されてから、ようやくセルビア領土の一部となりました。ベオグラードとは少し違う雰囲気を感じられます。

### (ア) ガルドシュ(Gardos)

もともとゼムンの町の中心は、ガルドシュと呼ばれる丘にありました。現在この丘には、墓地とミレニウム記念塔(Millennium Monument)が建っています。赤レンガが組み立てられた塔は要塞の一部をなしていて、1896年ハンガリー人によって建設されました。「ミレニウム記念塔」という名前は、ハンガリー王国の地位がこの地に千年根付くことを願ったこととされています。この丘に立って南方を見れば、向こうにはカレメグダン要塞が同じ目の高さにあることに気がきます。この地が戦略的拠点となり、重要な場所であったことが分かります。

### (イ) 処女マリア教会(Church of the Birth of the Holy Mother of God)

ゼムン市民に崇められているこの教会は、1775年から1783年にかけて建設された伝統的セルビア・ビザンチン様式の古い教会です。また、この教会はゼムン市で最も大きい大聖堂で、文化的にも歴史的にも大変重要視されており、内部には、18世紀末のイコンがあります。

### (ウ) セルビア・ドーム(Srpski dom)

1909年に建てられた、豪華なネオ・ロマンティック様式の建物。

もともとはセルビア大聖堂とセルビア学校が入っていましたが、今日では小学校のみとなっています。

### (エ) ベリ・メドベド(Beli medved)

17世紀終わり頃に建てられたトルコ占領時代の建物で、木材とレンガ建築の伝統的なものです。以前はカフェ・レストランをしており、今日ではゼムンで最も古い家です。

### (オ) シナゴーク(Synagogue)

1850年に建てられたユダヤ教会堂。教会堂のある通りはラビ・アルカライ通り(Rabina Alkalaja street)と言われ、ゼムンにおいて有名であったラビの人名(Juddah ben Solomon Haj Alkalaj)を使用しています。

Juddah ben Solomon Haj Alkalaj(1798-1878):ゼムンにシナゴークと2つのユダヤ人学校を建て、またヘブライ語の文法学者としても尊敬されていた人物。1839年代初頭、彼は多くの本の中でユダヤ人はパレスチナへ戻るべきだと説き、ヨーロッパ各地にイスラエル国家建国を目指すユダヤ人社会を創立した。シオニズム運動(イスラエル建国運動)の父と呼ばれるテオドール・ヘルツェル博士の両親は同じころゼムンに住んでいたことから、息子であるヘルツェルは彼の「イスラエル建国」という考えを受け継ぎ、後にシオニズム運動を組織するに至ったと考えられる。

### (カ) ゼムン市公園(City Park)

ゼムン市公園内にはかつて検疫機関があり、病気の広がりを防ぐため旅人や物が拘留されていました。現在公園内には正教系とカトリック系の異なる宗派の教会が隣接して建っていますが、これは拘留されていた旅人の宗教的要望からだそうです。



## IV 観光ツアー・観光関係サイト

### 1. バスツアー

ベオグラード郊外を含む広範囲を手軽に観光するには、観光バスによるツアーが便利でしょう。以下の様なツアーバスがあります。

#### (1) BELGRADE BUS SIGHTSEEING TOUR(英語)

日時:毎週土曜日午前12時30分(90分間)

出発場所:ニコラ・パシッチ広場(Trg Nikole Pasica 12)

順路:市庁舎→議会議事堂→テラジエ広場→共和国広場→カレメグダン要塞→新市街→トプチデル→デディニエ→スラビヤ広場→ニコラ・パシッチ広場

インフォ、チケット:Lasta Travel&Tourism(サバ広場もしくはBalkanska st. 35-39)

オペレーター:Tourist Organization Of Belgrade [www.tob.rs](http://www.tob.rs)

#### (2) OPEN BUS SIGHTSEEING(英・仏語)

日時:月曜除く毎日午前11時(50-70分間)



出発場所: ニコラ・パシッチ広場 (Trg Nikole Pasica 12)

順路: 市庁舎→議会議事堂→クネズ・ミロシユ通り→チトメモリアルセンター→聖サバ教会→テラジエ広場→共和国広場→カレメグダン要塞→新市街→ニコラ・パシッチ広場

インフォ、チケット: Tourist information Center, Republic Square 5

オペレーター: Tourist Organization Of Belgrade [www.tob.rs](http://www.tob.rs)

### (3) OPEN TOUR HOP ON HOP OFF (英・仏・伊・独語他)

日時: 毎日(5月~10月)始発9時30分、最終18時(90分間)

料金: 1500ディナール(24時間乗り降り自由)、2000ディナール(48時間)

順路: ベオグラード港(サバ川)→ホテルハイヤット→サバ・センター→ホテルホリデーイン→ベオグラードアリーナ→テラジエ広場→ニコラ・パシッチ広場→25MAY博物館→聖サバ教会→スラビヤ広場→共和国広場→カレメグダン要塞。

インフォ、チケット: SP Lasta (Balkanska 35-39)

オペレーター: SP Lasta [www.lastatravel.rs](http://www.lastatravel.rs)

## 2. ボートツアー

ボートでドナウ・サバ川を周遊する観光ツアー。

(1) Yachting club Kej

日時: 毎日18時出航約90分のコース

乗船場所: Jahting klub Kej, Usce bb

料金: 450 ディナール

オペレーター: Yachting club Kej [kontakt@klubkej.com](mailto:kontakt@klubkej.com)

要予約。予約時に事前に注文することで、クルージング中に食事が可能。

(2) Donau Ships d.o.o.

日時: 月一金18時、土日17時・19時出航 (夏季限定)約90分のコース

乗船場所: Kej Oslobodenja bb, Zemun

料金: 500 ディナール

オペレーター: Donau Ships d.o.o. [www.donauships.com](http://www.donauships.com)

その他ランチクルーズ、ディナークルーズ等有り。

## 3. その他観光関係サイト

・NATIONAL TOURISM ORGANIZATION OF SERBIA [www.serbija.travel](http://www.serbija.travel)

・City of Belgrade(ベオグラード市ホームページ) [www.beograd.rs](http://www.beograd.rs)

## V ベオグラード近郊日帰り観光

### 1. アバラ山(Avala)

ベオグラード南方20km離れたところに位置する標高511mの小高い山。山頂には有名彫刻家イバン・メシュトロピッチにより1938年に建立された無名戦士の記念碑があります。また、山頂にはホテルやレストランがあり、シュマディア地方の美しい展望を見ながら休憩することもできます。街の中心を離れ、新鮮な空気を吸いながらハイキングを楽しめます。

### 2. ノビ・サド(Novi Sad)

ベオグラード北方約75km、ベオグラードに次いで人口約35万人のセルビア第2の都市であるノビ・サドは、セルビアの北部ボイボディナ自治州(面積21,506km<sup>2</sup>)の州都でもあります。かつてオーストリア帝国ハプスブルグ家により支配されたこの地は、オスマン・トルコによる支配を受けたセルビア中南部とは全く違う文化・歴史を育んで来ました。また、この地は多くの民族と異教徒が住む多文化都市としても発展し、街の中心にカトリック教会、自由広場があり、その周辺を少し離れた場所にはシナゴーク(ユダヤ教会堂)が残っており、かつての名残を各所で見ることが出来ます。

中心を5km程離れた所にペトロバラディン要塞があり、ドナウ川を挟んで対岸にノビ・サドの街を見渡すことが出来ます。ペトロバラディン要塞は、16~18世紀にかけて建てられた欧州でも代表的な要塞の一つとされており、現在はその一部が博物館、ホテル、レストランなどの施設として利用されています。

### 3. フルシュカ・ゴラ(Fruska Gora)

ベオグラードからノビ・サドへ向かう道は、ハンガリー南部から広がるパンノニアと呼ばれる大平原であり、地平線がどこまでも続く平らな穀倉地帯です。途中、この大平原に15kmに渡るフルシュカ・ゴラという丘陵地帯(標高549m)が横たわっており、ハイキングコースも整備されている国立公園になっています。この地帯には15~18世紀に建てられたセルビア正教の修道院が17つ散在しており、別名「聖なる山々」と呼ばれています。その中でもクル

シェドル修道院は、ロシアとルーマニアの有名画家達によって描写されたこともあり有名です。また、納骨堂にはトルコ侵略後にセルビア人の大移動を率いた総主教が納められています。

#### 4. スレムスキ・カルロブツィ(Sremski Karlovci)

ベオグラードからノビ・サドに向かう途中にあるこの町は、1521年にトルコが征服し、1699年のスレムスキ・カルロブツィ平和条約が結ばれるまでは、トルコの統治下にありました。1713年から第一次世界大戦が終わる頃まで、この町にはセルビア総主教や大司教がおり、セルビア人にとって精神の拠り所であるとともに、行政的、文化的な意味での中心地でもありました。18世紀まではこの町の都市構造が形成され、こぢんまりとした広場を中心として周りに市庁舎、学校、正教会堂、カトリック教会等が建築されました。

##### (1)パトリアック宮 (The Patriarchy Court)

1894年に主教(Georgije Brankovic)の邸宅としてパトリアック宮が完成。パトリアック宮の内部には画廊、図書館、宝物がありました。第二次世界大戦中全てのもが盗まれ、クロアチアのザグレブへ送られたそうです。戦後、ごく一部分がベオグラードに取り戻され、それらが現在のパトリアック宮に展示されています。1階は、セルビア正教宝物館になっており、イコンや聖祭に使用される聖具、歴代の総主教の肖像画などが展示されています。2階の1部も公開されており、礼拝堂や廊下、ホールなどが見学できます。現在はスレム地方(フルシュカ・ゴラ丘陵地帯)の聖職者らの邸宅ともなっており、神学校としても利用されています。

##### (2)聖ニコラ正教会 (The Orthodox Cathedral)

スレムスキ・カルロブツィ広場の中心にある聖ニコラ正教会は、もともと16世紀に建てられた小さめの教会が改めて1758年に建築され現在の姿に至ります。バロック調の外観と2つの鐘楼が特徴的であり、内部にあるイコノスタシスという正教聖堂にある内陣と会衆席の間の仕切り(礼拝の時は聖職者が何回もこの仕切りをくぐって内陣と会衆席の間を行き来する。)は華麗に飾り付けられ、大小25ものイコンがはめ込まれています。

##### (3)ギムナジウム高等学校 (Gymnasium)

セルビアで最も古い高等学校であるこの学校は、1791年に設立。校舎内には図書室もあり、現在は18,000の書籍を所蔵しています。建築はハンガリーの建築家(Dula Prtos)によって完成され、現在も中学校として使用されています。

##### (4)4匹の獅子の泉 (The Four Lions Fountain)

広場の中心にあるのは、町のシンボルともなっている4匹の獅子の泉です。四角の立柱のそれぞれの面には獅子の顔があり、その口から長く突き出た蛇口からは絶えず水が流れています。昔は水源の供給システムが貧しかったため、人々が生活に必要な水を汲みに来ており、昔からの言い伝えで、この水を飲んだ者はみな、カルロブツィに地を移し、結婚すると言われています。現在の外観になったのは、19世紀中頃です。

## VI ホテル

★★★★★		
①	HYATT REGENCY BEOGRAD www.belgrade.regency.hyatt.com Milentija Popovica 5 TEL: 011-301-1234 FAX: 011-311-2234	ベオグラード市の最高級ホテル。設備が一番充実している。新市街。
②	METROPOLE PALACE www.metropolepalace.com Bul. Kralja Aleksandra 69 TEL: 011-323-0912	旧市街に位置し、2012年に改装オープンしたホテル。昔、数多くの有名人が宿泊したことで有名。
③	SQUARE NINE www.squarenine.rs Studenski trg 9 TEL: 011-333-3500 FAX: 011-271-3155	旧市街の中心部に位置する2011年にオープンした新しいホテル。
★★★★		
④	BEST WESTERN HOTEL M www.hotel-m.com Bulevar Oslobođenja 56 <sup>a</sup> TEL: 011-309-0401 FAX: 011-3095-501	ベオグラード中心より5キロ程離れた郊外にあり、設備も整っている。
⑤	BALKAN HOTEL www.balkanhotel.net Prizrenska 2 TEL: 011-3636-000 FAX: 011-2687-581	2005年に改装。立地条件、宿泊施設共に良い。
⑥	MAJESTIC www.majestic.co.rs Obilicev venac 28 TEL: 011-3285-777 FAX: 011-3284-995	共和国広場の近く。繁華街である歩行者天国から1本裏通りに立地。
⑦	MOSKVA www.hotelmoskva.rs Balkanska 1 TEL: 011-2686-255 FAX: 011-2688-389	2009年に改装。テラジエ広場に面した伝統あるホテル。外観も重厚な雰囲気。
⑧	PALACE www.palacehotel.co.rs Toplicin venac 23 TEL: 011-2185-585 FAX: 011-2184-458	外観・設備共に古い。観光には好立地。
⑨	Design Hotel Mr. President www.hotelmrpresident.com Karadjordjeva 75 TEL: 011-360-2222 FAX: 011-268-6254	各部屋に各国の代表的な大統領の肖像画が飾ってある。中央駅に近い。

⑩	Falkensteiner www.falkensteiner.com Bulevar Mihaila Pupina 10K TEL:011-225-0072	2013年にオープン。新大使館より徒歩5分。朝食のビュッフェにはセルビア料理のコーナーもある。
⑪	COWNE PLAZA www.crownplaza.com Vladimira Popovica 10 TEL:011-2204-110	改装後2014年にオープン。
⑫	IN HOTEL www.inhotel-belgrade.com Bul. Arsenija Carnojevica 56 TEL: 011-310-5300 FAX: 011-310-5351	新市街に2006年に立地。高速沿いで移動に便利。
★★★		
⑬	Rex www.hotelrex-belgrade.com Sarajevska 37 TEL: 011-3611-1862 FAX: 011-3612-965	2003年に改装。三つ星だが、比較的設備は良い。中央駅の近く。
⑭	HOTEL EXCESLSIOR www.hotelexcelsior.rs Kneza Milosa 5 TEL:011-323-1381 FAX: 011-323-1951	2010年に改装。立地条件が良く、設備も簡素ながら整っている。

## VII. 買物・お土産

クネズ・ミハイロバ通り、クラリヤ・ミラナ大通り、クラリヤ・アレクサンドラ大通り、テラジエ広場、スラビヤ広場周辺が市内のショッピング街と呼ばれるエリアです。営業時間は店舗によってまちまちですが、平日は9時から20時、土曜日は16時での閉店が主流です。しかし最近の傾向として週末も営業する店が徐々に増えています。特に、大きいスーパーやショッピングセンターは日曜日でも営業しています。

セルビアの特産品でお土産になるものは次のとおりです。

- \* ラキヤ: プラムや杏から作られた蒸留酒(40° ~45°)カレメグダン公園でラキヤ用のグラスも売っている。フラスコ型の形が特徴的で、一輪挿しなどにも使える。
- \* ワイン: 日本ではあまり認知度は高くないが、セルビアでは葡萄を始めとする、ベリー系果実の栽培が盛んで、輸出も多くしている。乾燥した気候と、夏場の強い日差しを浴びて育った葡萄で作るセルビア産及びバルカン地方のワインはイタリアワインのような渋みとコクを兼ね備えている。また、オーストリアを始めとする王室がこよなく愛し、あのタイタニック号にも乗っていたという貴腐ワイン「ベルメット」などはセルビアでしか手に入らない逸材。

主なワインの産地: オブレナツ、フルシュカ・ゴーラ

- \* 手工芸品: 刺繍製品、木工品、伝統織物など独創的なデザインが目を引く。カレメグダン公園やクネズ・ミハイロバ通りなどでは、熟練した技術を持ち合わせた婦人がその場で作りながら販売している姿をよく見かける。

その他スーパーで購入できるお土産:

- \* プラズマクッキー: セルビアで広く食べられているビスケット。素朴で懐かしい味。セルビアでは子供から大人までファンは多い。ハイアットホテルのティーラウンジではこのクッキーが使われているオリジナルケーキが数種類ある。
- \* アイバール: 赤パプリカをオリーブオイル、にんにくやハーブなどと煮込んでペースト状にしたセルビアの保存食。パンめくるのはもちろん、パスタに混ぜるとおいしい。

## VIII 食事・レストラン

一般的に量が多く、肉料理が中心であり、“西洋料理”に比べて塩分が多く、油っこいのが特徴です。また Papricica(パプリチツァ、唐辛子みたいなもので、非常に辛い)や玉葱など刺激の強い薬味が入っている場合もあります。

### 1. 代表的なセルビア料理メニュー

オードブル(Apéritif)		
カイマク	Kajmak	濃厚なクリーム・チーズ
スィル	Sir	セルビアチーズ(総称)
プルシュタ	Prsuta	生ハム。モンテネグロのプルシュタが有名
プローヤ	Proja	トウモロコシで作ったパン
ベチュルケ・ナ・ジャール	Pečurke na žaru	マッシュルームをグリルしたのも
プレブラナツ	Prebranac	豆を玉葱とトマトソースで煮込んだもの

スープ (supe)		
スウパ	Supa	クリア・スープ
ゴベジャ・スウパ	Govedja supa	コンソメ・スープ
チョルバ	Čorba	肉や野菜を煮込んだ具沢山スープ
テレチャ・チョルバ	Teleća Čorba	仔牛肉入りのスープ
リブリャ・チョルバ	Riblja Čorba	川魚スープ
サラダ (Salate)		
スルプスカ・サラータ	Srpska Slata	トマト、きゅうり、玉葱、唐辛子のサラダ
ショプスカ・サラータ	Sopska Slata	上記のサラダに削りチーズがかかったサラダ
ペチェナ・パプリカ	Pečena paprika	焼いた赤パプリカを酢、油、にんにくで味付け
肉料理 (Meso)		
ビフテク	Biftek	ビーフ・ステーキ
ムチュカリツツァ	Mučkalica	豚肉と野菜(玉葱、パプリカ、トマト等)の煮物
サルマ	Sarma	酢漬けキャベツで挽肉と米を包んだ煮物
テレチ・メダリヨン	Teleći Medalijon	仔牛のステーキ
チェバプチッチ	Čevapčići	挽肉をソーセージの形にしてグリルしたもの
プリエスカピツツァ	Pljeskavica	弾力のあるセルビア風ハンバーグ
カラジョルジエバ・シュニツツェラ	Karadjordjeva Šnicla	カイマックを牛肉で包み、パン粉をまぶして揚げたもの
ムサカ	Musaka	馬鈴薯や茄子などを挽肉とチーズで焼いたもの
デザート (Dezert)		
バラチンケ	Palačinke	セルビア風クレープ
オラシュニツェ	Orasnice	細かく砕いたくるみのクッキー
クレム・ピタ	Krempita	生クリーム又はカスタードをパイ生地で焼いたもの
スラドレド	Sladoled	アイスクリーム
ボシュナ・サラータ	Voćna Slata	フルーツ・サラダ
アルコール類 (Alkohol)		
セルビアの地酒は Rakija(ラキヤ)と呼ばれる蒸留酒で、いろいろな種類の果実を原料としている。アルコール分は高く、種類によっては 50 度を超えるものもある。また当国の地形や気候を生かしたワインの生産も盛ん。		
カイシェバツチャ	Kajsijevača	杏のラキヤ
シュリポピツツァ	Šljivovica	プラムのラキヤ
ロゾバツチャ	Lozovača	ぶどうのラキヤ
ブラナツツ	Vranac	モンテネグロの赤ワイン
クルスタッチ	Krstač	モンテネグロの白ワイン

## 2. レストラン(地図上では◇で表示)

ベオグラード市中心部		
1	Kalemegdanska Terasa (カレメグダンスカ・テラサ) Mali Kalemegdan bb TEL:011/328-2727	カレメグダン公園内にあり、ドナウ川を一望しながら食事ができる。格調高いセルビア料理の老舗。上品なセルビア料理を堪能できる。事前予約が望ましい。 12:00-01:00 V/M/D/A
2	Vuk(ヴーク) Vuka Karadžića 12 TEL:011/2629-761	クネス・ミハイロフ通りから一つ入った所にある、由緒あるセルビア料理店。量は多いが、Kapama(カパマ)と言う、ほうれん草と子羊の肉料理がおいしい。 10:00-24:00 (休)日・祝日 V/M/A
3	Dva jelena(トウハ・イェレナ) Skadarska 32 TEL:011/323-4885	<二頭の鹿>という意味のスカダルリアにある、セルビアの郷土料理の店。内装は高級感にあふれていて雰囲気が良い。 11:00-01:00 V/M/D
4	Tri šešira(トクリ・シェーラ) Skadarska 29 TEL:011/324-7501	元々は洋裁所であったことから<三つのシルクハット>という名が付けられたスカダルリアで最も古いレストランの一つ。 11:00-01:00 V/M/D

5	Pane e Vino(パネ・エ・ビーノ) Dobračina 6 TEL:011/3036-011	市内中心部、国立劇場近辺の脇道を下ったところにあるレストランで、店内は1階と地階とに分かれている。パスタ料理の他に肉料理、各種ワインも楽しめる。10:00-24:00 (休)日 V/M/D/A
6	PEKING(北京飯店) Vuka Karadžića 2 TEL:011/181-931	クネス・ミハイロバ通りから1つ通り入った所にある中華の老舗。中国人コックが料理し味もよい。古くからあるため地元の人には定評がある。月～土 11:00-23:00, 日 13:00-23:00 V/M/D
7	Little Bay(リトル・ベイ) Dositejeva 9a TEL:011/3284-163	ロンドンにも店を持つインターナショナル料理のレストラン。オペラ座の様な内装で、夜にはクラシックの生演奏を聞くこともできる。手頃な値段で美味しい料理が楽しめる。09:00-01:00 V/M/A
8	Madera(マデラ) Bul. Kralja Aleksandra 43 TEL:011/323-1332	タシュマイダン公園に隣接し、店内はモダンで品格ある内装。セルビア料理もあるが、肉のグリルや甘さ控えめのパンナコッタもお勧め。10:00-01:00 V/M/D

### 新市街～ゼムン地区

9	Žabar(ジャバール) Kej oslobođenja bb TEL:011/3191-226	ドナウ川に浮かぶボートレストランの1つ。店名は「蛙捕り」という意味だが、蛙料理はなく店内には蛙の小物が数多くある。昼も夜も落ち着けて、食事もおいしい。要予約。12:00-23:00 V/M/A
10	Marinada(マリナーダ) Savski nasip 7 TEL:011/2274-128	新市街側のサバ川沿いにある。暖かい時期は外で川を眺めながら食事が可能。魚スープがおいしいと評判。店の推薦する食材で好みの料理をしてくれる。10:00-01:00 V/M/D
11	Novak(ノバック) Bul. Arsenija Černojevića 54a TEL:011/311-3131	テニスプレーヤーノバック・ジョコビッチの家族が経営するレストラン。店内ではジョコビッチの試合が放映されており、たまにジョコビッチ一家に遭遇することもある。09:00-01:00 V/M/D/A

## Ⅷ 簡単な日常会話・単語

### 1. 挨拶・日常会話

はい	ダー Da.	おはようございます	ドブロ ユートゥロ Dobro jutro.
いいえ	ネー Ne.	こんにちは	ドバル ダン Dobar dan.
わかりません	ネ ズナム Ne znam.	こんばんは	ドブロ ベーチ Dobro veče
ありがとうございます	フバアラ Hvala	おやすみなさい	ラク ノーチ Laku noć.
どういたしまして	モリム Molim.	さようなら	ドビジェーニヤ Dovidjenja.
英語(仏語、独語)を話されますか?		ダ リ ゴボリテ エングレスキ フランツスキ ネマチュキ Da li govorite engleski (francuski, nemacki)?	
すみません	イズビニテ Izvinite.	これをください	ダイテ ミ オボ Dajte mi ovo.
いくらですか?	コリコ コーシュク Koliko košta?		
(日本大使館)はどこにありますか?		グデ イェ ヤパンスカ アンバサーダ Gde je (japanska ambasada)?	
私は～です	ヤー サム Ja sam ~.	あなたのお名前は?	カコ セ ソベテ Kako se zovete?
私は日本人男性(女性)です		ヤー サム ヤパーナツ ヤパンカ Ja sam japanac (japanka).	
今何時ですか?	コリコ イェ サーテイ Koliko je sati?	助けて下さい	ウ ポモッチ U pomoć!
警察を呼んで下さい	ポソビテ ミリツイユ Pozovite miliciju!	医者を呼んでください	ポソビテ ドクトラ Pozovite doktora!
頭(お腹、歯)が痛いのです		ボリー メ グラーバ ストマック ズーブ Boli me glava (stomak, zub).	

## 2. 基本単語

### (1) 時間

年	ゴディナ godina	月	メセツ mesec	日	ダン dan
今日	ダナス danas	昨日	ユージュ juče	明日	ストゥラ sutra
午前	プレ ボドゥネ pre podne	午後	ポスレ ボドゥネ posle podne	正午	ポドゥネ podne
月曜日	ポネデリヤク ponedeljak	火曜日	ウトラック utorak	水曜日	スレーダ sreda
木曜日	チュートブルタック četvrtak	金曜日	ペータック petak	土曜日	スボタ subota
日曜日	ネデリヤ nedelja				

### (2) 街で...

通り	ウリツァ ulica	住所	アドゥレッサ adresa	地図	マパ mapa
紙	パピール papir	鉛筆	オロープカ olovka	パスポート	パソシュ pasoš
お金	ノバツ novac	キオスク	トラフィカ trafika	本屋	クニジャラ knjižara
新聞	ノビネ novine	雑誌	チャツピス časopis	本	クニイガ knjiga
お店	プロダブニツァ prodavnica	デパート	ロボナ クチャ robna kuća	市場	ピヤツァ pijaca

### (3) 交通

駅	スタニツァ stanica	駅ホーム	ペロン peron	チケット	カールタ karta
市電(トラム)	トラムバイ tramvaj	列車	ボーズ voz	バス	アウトブス autobus
車	アウトモビール automobil	タクシー	タクシー taksi	船	ブロード brod
空港	アエロドロム aerodrom	飛行機	アビオン avion		

### (4) 食事

メニュー	イェロブニク jelovnik	皿	タニール tanjir	コップ	チャシャ čaša
ナイフ	ノージュ nož	フォーク	ビリュシュカ viljuška	スプーン	カシカ kašika
肉	メーソ meso	魚	リバ riba	野菜	ポブルチュ povrće
果物	ボチュ voće	甘い	スラトウコ slatko	辛い	リユート ljuto
塩	ソー so	砂糖	ジェチエル šećer	胡椒	ビベル biber
水	ボダ voda	ミネラル・ウォーター(ガス入り)	キセラ ボダ kisela voda	ジュース	ソーク sok
ビール	ピーボ pivo	ワイン	ビーノ vino	コーヒー	カファ kafa
紅茶	チャイ čaj	ケーキ	トールダ torta	デザート	デザート dezert
お会計をしてください。			ラチュン モリム バス Ra c un molim vas.		

### (5) ホテル

部屋	ソバ soba	鍵	クリューチ ključ	ドア	ブラーク vrata
窓	プロゾル prozor	風呂場	クパティロ kupaćilo	トイレ	トアレット toalet
タオル	ペシュキール peškir	石鹸	サプーン sapun	ドライヤー	フェン fen
毛布	チュベ čebe	布団	ヨルガン jorgan	枕	ヤストゥック jastuk
テーブル	ストー sto	椅子	ストリツァ stolica		

### (6) 数字

1	イェダン jedan	2	ドゥバ dva	3	トゥリ tri	4	チュティリ četiri	5	ペートゥ pet
6	シェーストゥ šest	7	セダム sedam	8	オサム osam	9	デベツト devet	10	デセツト deset
11	イェダナエスト jedanaest	12	ドゥバナエスト dvanaest	13	トゥリナエスト trinaest	14	チュエトリナエスト četirnaest	15	ペトゥナエスト petnaest
16	セダマナエスト šesnaest	17	セダムナエスト sedamnaest	18	ドゥバデセツトイェダン dvadesetjedan	19	デベツトナエスト devetnaest	20	ドゥバデセツト dvadeset
100	スト sto	200	ドゥベスタ dvesta	500	ペートウスト petsto	1000	ヒリヤダ hiljada		

## X 主要連絡先一覧

### 1. 在セルビア日本国大使館

住所: Trešnjnog cveta 13, 11070 Novi Beograd

電話: 011-301-2800 (海外からは+381-11-301-2800) 開館時間: 8:30~12:30 / 13:30~17:00

上記時間外で事故等緊急事態が発生した場合は、領事緊急電話(063-307-021)に連絡下さい。

### 2. 緊急連絡先

警察: 192 消防: 193 救急車: 194

### 3. 医療施設

※※Bel Medik で診療を受け、緊急時には Anlave Clinic、Serbia Clinic Centrer の利用を推奨します。

(1) Bel Medik Clinic (ベル・メディック・クリニック) [www.belmedic.rs](http://www.belmedic.rs)

内科、小児科、整形外科、産婦人科、眼科、歯科、耳鼻科、検査等

住所①: Viktora Igoa 1 (主に小児科) 住所②: Koste Jovanovica 87 (Red Star Stadium 近く)

電話: 011-309-1000 携帯番号: 063-356-555 (副院長 Dr. Ivana Petrovic) 英語可

☆24 時間受診可能な個人医院。専門医が不在でも必要なら大学病院等から呼び出すシステム。英語対応可能。入院設備あり。カード利用可能。

(2) セルビア・クリニック・センター内救急医療センター

大学付属の救急救命センター

住所: Pasterova 2 電話: 011-3618-444

☆24 時間体制であり、手術が必要な時や大けがの時に利用。電話対応はセルビア語のみ。

※(3) Anlave Clinic (アンラベ・クリニック) (近年あまり利用していない)

内科、小児科、外科、歯科、皮膚科、泌尿器科等

住所: Majora Branka Vukosavljevic 114, Novi Belgrade

電話: 011-227-1944 携帯番号: 063-201-202 (院長 Dr. Ivanovic)

☆24 時間受診可能な個人医院。専門医が不在でも必要なら大学病院等から呼び出すシステム。英語対応可能。入院設備あり。カード利用可能。

### 4. その他

(1) ベオグラード・ツーリスト・インフォメーション

ベオグラード空港内	011-209-7828 (9:00~20:00)
クネズ・ミバイロバ通り	011-328-1859 (月~土曜 9:00~21:00)
テラジエ広場地下道	011-263-5622 (平日 9:00~20:00 / 土・日曜 9:00~16:00)

(2) ベオグラード空港インフォメーション

電話: 011-209-444 / 064-8485-402 / 063-255-066

(3) 国内・国際バス

(ア) Beogradska autobuska stanica [www.bas.rs](http://www.bas.rs)

住所: Zeleznicka 4 電話: 011-2636-299 (インフォメーション・予約 5:30-22:00)

(イ) Lasta Bus Station [www.lasta.rs](http://www.lasta.rs)

住所: Zeleznicka 2 電話: 011-3348-555

(ウ) Srbija Tours International [www.srbija-tours.com](http://www.srbija-tours.com)

住所: Licka 3 電話: 011-761-4545

(4) ベオグラード中央駅 [www.zeleznicesrbije.com](http://www.zeleznicesrbije.com)

住所: Savski trg 2 電話: 011-3602-899 (コールセンター)

(5) 主要航空会社

航空会社	コード	電話番号	住所
Air Serbia	JU	011-3112-123	Bulevar umetnosti 16
Montenegro Airlines	YM	011-2621-122	Knez Mihailova 23/1
Lufthansa	LH	011-3034-944	Terazije 3/7
Austrian Airlines	OS	011-3248-077	Terazije 3/3
Air France	AF	011-2638-222	Knez Mihailova 30/2
British Airways	BA	011-3281-303	Knez Mihailova 30/4
Swissair	LX	011-3030-140	Terazije 3/7
Alitalia	AZ	011-3245-000	Terazije 43/1

